



## 2022年度 研究報告

### 学習者用デジタル教科書の活用に関する教員の研修希望を調査した研究の成果が論文として刊行されました!

発行年月: 2022年11月

掲載誌名: 日本教育情報学会誌「教育情報研究」第38巻第1号

著者: 徳島祐彌/清水優菜/阪上弘彬/山下義史/清遠和弘/永田智子/森山潤

学習者用デジタル教科書の活用のための教員研修の開発に向けて、学習者用デジタル教科書活用の「懸念」と「研修希望」について調査を実施し、教員の意識実態の類型化を試みました。

#### 学習者用デジタル教科書の活用に対する懸念と研修希望の関連性に基づく 小・中学校教員の類型化 —研修開発に向けた実態把握—

Categorization of elementary and junior high school teachers based on the relationship between concerns and training needs around utilization of digital textbooks for learners  
-Understanding the actual situation for the development of teacher training-

\* 1      \* 2      \* 3      \* 4      \* 5      \* 6      \* 7  
徳島 祐彌/清水 優菜/阪上 弘彬/山下 義史/清遠 和弘/永田 智子/森山 潤

学習者用デジタル教科書(以下、DT-L)の活用のための教員研修の開発に向けて、DT-L活用の「懸念」と「研修希望」に基づいて教員の類型化を行った。小・中学校教員計1,050名を対象に調査を実施し、階層的クラスタリングを行った。その結果、教員は6つのクラスター(c1~6)に分類された。各クラスターの特徴を「児童・生徒への影響(学習・学力への関心)」「教員(自分)への影響(教授・仕事への関心)」、「教育課程・制度志向(マクロな動向)」「授業設計志向(ミクロな変化)」の2軸上に位置づけたところ、c1の教員がDT-L導入による学習の変化への関心やマクロな視点からの研修希望を持つものに対して、c4の教員はDT-L使用時のトラブルへの懸念や自身のスキルアップの研修を希望するなどの特徴が把握された。その他のクラスターの特徴はc1とc4の中間に位置づけられた。クラスターの特徴を踏まえて、各教員集団を対象とした研修開発について考察した。

<キーワード>

学習者用デジタル教科書, 教員研修, 懸念, 研修希望